

7番 米永淳子 議員

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 新型コロナウイルス感染症により地域経済は深刻な打撃を受けていることが予想される。市内の今後の経済や雇用を守るためにも、状況の変化を踏まえ、きめ細やかな対応が必要と考えるが、本市ではどのように事業者の現状を把握しているのか。
- (2) 経済支援と課題について
 - ① 雇用環境について解雇や給与カット等を実施している事業所からの主な相談内容について示されたい。
 - ② 生活保護申請者は増加傾向にあるのか。
 - ③ 税の徴収猶予制度の特例について課題を示されたい。

2 子育て支援について

- (1) ひとり親家庭医療費助成手続の申請方法を簡素化する考えはないか。
- (2) 鹿屋市の様々な子育て支援のメニューや手続方法、所得制限に係る計算方法など、もっと分かりやすくホームページに掲載できないか。
- (3) 土曜日の窓口サービスを開始する考えはないか。
- (4) コロナ禍における病児保育施設への財政支援が実施された。病児保育事業は、感染症の流行や、病気の回復による突然の利用キャンセルなどにより、利用児童数の変動が大きく、経営上の問題から事業に取り組みにくいとの指摘がある。病気中の子どもを預かる病児保育も実施することで、子育てと仕事を両立する保護者のいざというときのニーズに応えていくため、職員の勤務体制が課題となっていることから、施設を継続させるための財政支援は考えられないか。

7番 米永淳子 議員

(5) 児童福祉法に基づき、障害のある学齢期児童が学校の授業終了後や学校休業日に通う、療育機能・居場所機能を備えた福祉サービスで、障害のある児童の学童保育とも呼ばれている放課後等デイサービスがある。急激に施設が増えたことによって健全な経営の確立や質の低下が懸念される。市内放課後等デイサービス事業者の参加状況を市はどのように把握しているのか。

また、各事業者と行政との連携や研修等も実施しているのか。